

着々すすむ産業建設

新会社・新和工業KKの誘致なる

今春誘致に成功した入善機械工業センターに引き続き、トヨタ自動車工業系列の高丘工業の姉妹会社新和工業KKが設立されることになりました。

最近の日本の産業界は、貿易の自由化とともに急速に発展していますが、自動車業界においてもその例にもれず、性能、技術の向上とともに国内はもろろ世界の国々にまで輸出され、その名を高めています。

この自動車の部品であるフライホイール、ドラムブレーキ等の鋳物を製造している高丘工業K

K（愛知県碧海郡高岡町）でも工場拡張の計画がなされていたところ、入善町の熱心な誘致運動と富山県や富山県機械工業協同組合連合会田中儀一郎会長等のあつ旋によって、労働力の豊富な入善で新工場が設立されることになったものです。

調印式は九月二十八日県庁の知事室で県知事の立会いのもとに行なわれ、入善町長と高丘工業KK社長との間に工場誘致契約書が取りかわされました。

新工場の看板樹立式は、同日調印式についで、敷地予定の国道八号線沿い上田、上野境の現地で、小雨にもかかわらず、関係者多数の見守る中で厳しゆくに挙行されました。

この契約は、町が工場用地約一三八、〇〇〇平方メートル、住宅用地約二六、〇〇〇平方メートルの土地を新会社にあつ旋

資本金は八千万円

新会社は高丘工業KKが主体となり、資本金は八、〇〇〇万円、本社および工場は入善に置くことになり、名称は新和工業株式会社とつけられました。取締役社長は高丘工業の渡部新八氏で、高丘工業と同じく自動車の部品製造を行ないます。操業開始はらい年の夏の予定で、従業員は二〇〇人、月産二、〇〇〇万円を目標にスタート、二年後には五〇〇人とし、生産高も一億五、〇〇〇万円に増大させる計画です。なお、その間の設備投資は約七億五、〇〇〇万円が予定されています。

大入善町への躍進

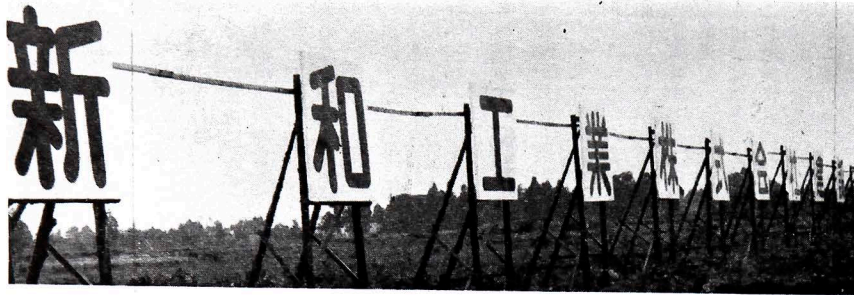
栲山地区には県立職業訓練所

先に機械工業センターが建設され、ついで九月県議会で県立

の職業訓練所を栲山地区内に設置されることに決定された喜びがまして、こんどの新工場建設が決定したことは町にとって非常によろこばしいことです。とくに農業、漁業など第一次産業における機械化などの構造改善事業が進むにつれ、豊富な余剰労働力が出てきている現在、これら一連の工場誘致成功は、わたしたちの町の発展を約束するすばらしい快挙といえましょう。しかし、このかけには土地を提供してくださった方々をはじめ、関係者のたゆまぬ努力があったことを忘れてはなりません。新工場の力強い門出を祝福するとともに、今後もわたしたちみんなの協力によって、輝やかしい大入善町への発展を目指しましょう。

写真上は国道八号線沿い、上田上野地区にある新和工業KKの建設用地

写真下は九月二十八日に県庁知事室で行なわれた誘致契約書の調印式。吉田知事の立会いのもと、関係者多数の見守る中で契約書に押印する米沢町長



6月1日現在

人口減り、世帯数増える

総合実態調査結果まとまる

本年六月一日現在をもって実施しました総合世帯実態調査につきましては町民各位の格別なご協力を得ましてここに結果がまとも公表の運びとなりましたことを厚く御礼申し上げます。この調査は昭和三十九年六月一日現在における本町住民の常時居住の実態、十五才以上の就業の状態、選挙権、国民の健康保険、国民年金、住宅、飲料水その他各種統計を整備統合した総合調査で本町行政事務の基礎資料として各種事務の適確な処理と能率化を計り住民サービスの向上を図る目的で実施されたものであります。しかもこの調査は県下でも初めの新しい試みとして実施された町単独総合世帯調査で、五年ごとに行なわれていた国勢調査に匹敵する大がかりなもので結果についても県下から注目されていたものであります。しつかり調査の方法は本町一二二の区および団地より一五〇名の調査員を任命し、悉皆調査法を採用一世帯一調査票を用い、調査員が各世帯に配布し、各世帯で記入してもらいました。

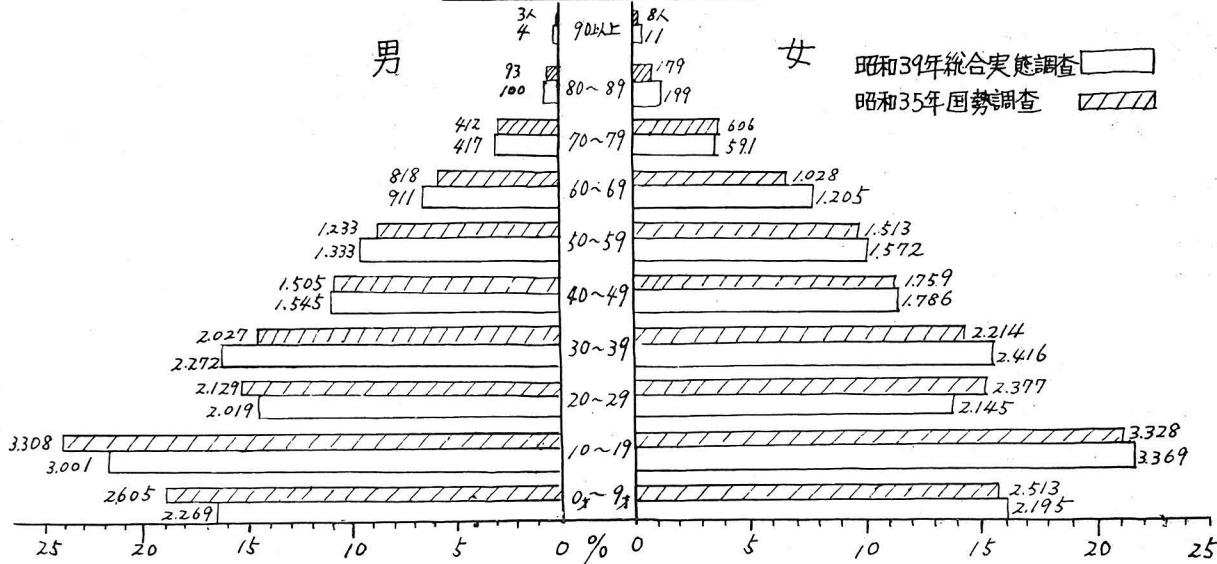
結果の概要

昭和三十九年六月一日現在での本町世帯数は六、二四二世帯人口は二九、三六〇人でした。今から四年前に実施された昭和三十五年国勢調査と比較しますと世帯数では一六〇世帯の増加人口では二九八人の減少でしたこれを男女別でみると男二六二人、女三六六人の減少で男の減少が特に目立っています。また世帯数が増加し人口が減少することも最近の新しい動きで、近年盛んに建てられる家屋の新築、町営住宅の新設等による世帯増次三男の大都市への転出増等が原因のようです。

全町民を年代別にみると一番多いのは終戦の二十年から二十九年までに生まれた十代の一九％で、ついで三〇代の一六％、九才までの乳幼児一五％、二〇代の一四％、四〇代の一％の順となっています。

年次	世帯数	総人口	男	女
昭和35年10月	6,082	29,658	14,133	15,525
◇ 36年12月	6,108	29,583	14,007	15,576
◇ 37年12月	6,131	29,546	13,891	15,655
◇ 38年12月	6,193	29,382	13,737	15,645
◇ 39年 6月	6,242	29,360	13,871	15,489

年齢別人口の割合



つきに町民の労働力(一五才以上)をみますと、農業漁業などの第一次産業従事者が八、四八二人で一番多く全体の五二％であり、建設、製造業などの第二次産業従事者が四、四〇九人、商業、運輸、電気、公務、サービス業などの第三次産業従事者が三、五七四人で、いぜん農業人口が半数近くを占めています。昭和三十五年国勢調査と比較した場合、第一次産業では一八九二人の減少を示しており、逆に第二次産業では一、二二三人も増加し大きく伸びを示したことは注目すべきことであります。このような現象は全国的なすう勢であつて本町もれないようであります。

これに対して無業者は五、三七〇人(男一、七〇八人、女三、六六二人)もおり、潜在的労働力も相当あるようにみられます。この内容を昭和三十五年国勢と比較した場合、完全失業者五七人の増、家事従事者五二二人の増、通学者七三二人の増、病弱、高齢などで働けない人その他で二三七人の増でこのうち女子の増加が著しく一、一九人も増加し半数以上を示している。

つきに、就業者を県内、県外町内別にみますと、一五才以上の労働力一六、四六五人(男八、三五一一人、女八、一一四一人)のうち町内労働者一三、三二七人(男五、七八一人、女七、五四六人)、県内労働者二、〇五六人(男一、五九七人、女四五九人)、県外労働者一、〇八二人(男九七三人、女一〇九人)で、昭和三十七年調査と比較した場合、町内労働者はほとんど変わらないが県外で三四人、県内で三九九人も増えており将来性のある若い労働力が県内、県外へ流出していると思われまます。これを県下市町村別に見ると、一番多いのは隣接黒部市(吉田工業、北陸製塩など)へ通勤する男が四五一人、女二六四人もいることは注目すべき点でしょう。ついで

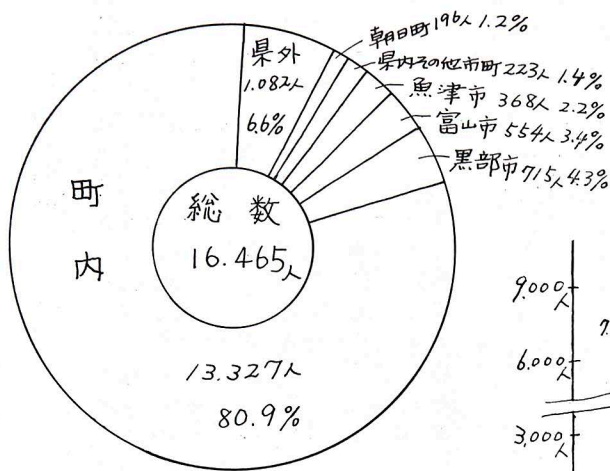
農業従事者が

建設・製造業に移行

で富山市(各官庁、会社など)へ通勤する男が四九八人、女五六人となっているほか、魚津市(日本カーバイドKKなど)三六八人、朝日町一九六人の順になっています。

また町民の家計のおもな収入による世帯の特性別にみると、総世帯数六、二四二世帯のうち漁家が三〇世帯、農林業の就業者のみの世帯(専業)が一、〇八八世帯、非農林業の就業者がいる世帯(農業主)が一、七二八世帯、製造業、建設業を営む世帯が二八〇世帯、商業サービス業を営む世帯六三三世帯、勤め人労働者の世帯六三三世帯、勤め人労働者のみの世帯三、五四四世帯の世帯一三五世帯であった。これを昭和三十七年調査と比較しますと、農林業のみの世帯(専業)七五七の減少、非農林業の就業者がいる世帯(農業主)では逆に二六四の増、製造業などの世帯が五七の増、商業、サービス業などの世帯が五五世帯の減少、勤め人などの世帯が六〇八世帯も増加していることに注目すべきだと思います。

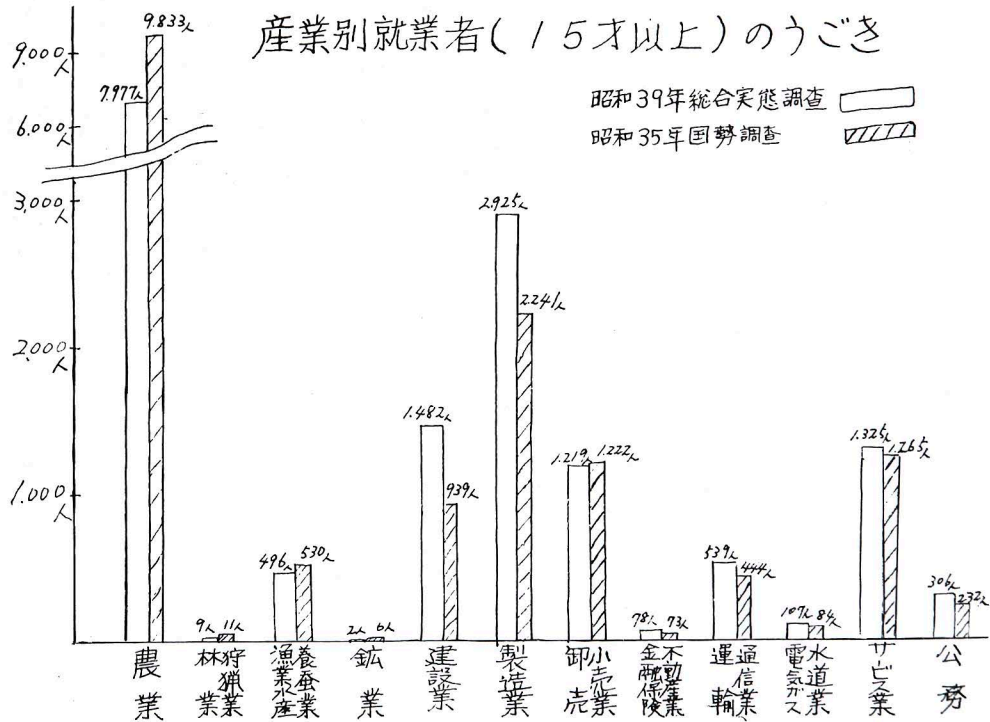
就業者の地域別労働力状態



次に住居の所有関係について持家が五、七七一で世帯員平均四・七人、借家が三四一で世帯員平均三・六人、間借一七で世帯員平均二・三人となっている。

ます。これを昭和三十七年調査と比較してみますと、持家が八二増、借家が三八減、間借で一六増となっていることは今後ますます世帯人員の細分化が行わ

産業別就業者(15才以上)のうごき



れることを考慮して、本町としても対策が重要な課題になるものと思われれます。ついで飲料水の求め方について一番多いのは自家用井戸の五六%で以下組合営水道の加入世帯三四%、町営水道の加入世帯九%となり町民のほとんどが豊富な地下水や水道で衛生的な飲料水に恵まれている半面、野中、新屋、棚山の一部でいまだに川水を使用しているところがあるようです。

ついでごみ処理の適用を受けている世帯が一、一五三で人口が四、五七六人、自家処理世帯五、〇七三、人口が二四、七三四人と大部分を占めています。またし尿処理の適用を受けている世帯一、二五六で人口五、〇三一人、自家処理をしている世帯四、九一五で人口二四、〇七七人、その他七一七世帯で二五二人ということがわかりました。国民健康保険については加入している世帯四、六六三で一八〇六九人、社会保険に加入している世帯三、二一六で一〇、六八六人でした。また国民年金に加入している人が七、六七六人、公的年金に加入または受けている人が四、七七四人でした。ついで米の配給関係では生産世帯四、〇九五で対象人口一九、二〇一、ないもの六八一人、また消費世帯は二、一三五で対象人口八、七六八人、ないものは六五二人でした。

なお次号には部落区別世帯数および人口、産業分類人口などを中心に記載したいと思います

みんなにこにこ右手を上げりや
今日も安全横断歩道

新屋小4年生
村上美喜子

待望の保育所新設

12月15日完工めざして急ピツチ

新屋地区民待望の保育所が新設されることになりました。これは今まで私設のものがありませんでしたが、こんどあらたに町営のものを併設し、設備も一段と強化し、内容も充実させて町立保育所として新発足させることになったものです。

十月十四日には、この新築工事の起工式が新屋小学校東隣りの建設場所で行なわれました。式には町長をはじめ助役、収入役議会議長、工事を請負うことになった中山組代表や、部落代表婦人会長など関係者多数が参加し、町長のくま入れ、中山組代表のくわ入れのあと、関係諸氏の玉串奉典を行ない、午前十一時すぎに無事閉式しました。

新保育所は、三〇三・三三平方メートル、木造瓦葺平屋建一棟で保育室、遊戯室、乳児室のほか、医務室調理室、事務室など設備の充実した立派なもので、幼児を抱えたおあさんたちに

大へん喜ばれています。できあがるのは十二月十五日の予定でいま急ピツチで工事が進められています。

(写真左は町長のかま入れ)



りです。

九月定例会

新和工業を誘致

町では、かねてトヨタ自動車系列の部品工場を誘致する運動をづづけてきましたが、八月末日愛知県碧海郡高丘工業(渡部新八社長)から誘致に応ずるとの正式な意思表示をうけました

九月二十八日、県庁で吉田知事立ち合いのうえ水沢町長と渡部社長が調印を行ない、二十九日の九月定例会で工場誘致特別措置を議決、同時に渡部社長に対し町議会の感謝決議文を手渡しました。さらに議会で一般会計補正予算など九件を原案どおり可決したほか請願七件、陳情四件を採択し、一般質問を行なって六時半ごろ閉会しました。おもな議決事項はつぎのとおり

▽工場誘致特別措置

- ①一三八、〇〇〇平方メートルの敷地あつ旋
- ②工場用住宅団地二六、〇〇〇平方メートルあつ旋
- ③社員用住宅建設のあつ旋
- ④用水、外周道路の整備
- ▽一般会計補正予算Ⅳ、八三九、九万円
- ①役場庁舎建設基金積立三、〇〇〇万円
- ②職訓敷地四五〇万円
- ③土地改良事業補助金四二九万円
- ④工場誘致事業特別会計繰出金一六〇万円
- ⑤道路舗装三三二・二万円
- ⑥災害復旧費一八三・九万円
- ▽簡易水道補正予算Ⅰ一八・二万円
- ▽公団分収造林補正予算Ⅳ、一万円
- ▽工場誘致会計補正予算Ⅶ、八四六万円

教育長に清田氏

戦後強くなったものは、婦人とクツ下だといわれます。ナイロンの出現でクツ下は穴のあくのを待つ程に強くなったのは事実ですが、婦人は果して強くなったのでしょうか。職場で「君、お茶をくれないか」といったりすれば「あなはの給仕ではありません」とビシヤリ来る。恋人同士でも女性の立場を堂々と主張します。にもかからず家庭では、子供の教育、家計のきり盛りにはご主人のいいなりというのが多いようです。農家でもご主人は農作業一本に打ち込んだ生活をしておられるのに対し、ご主人はご主人と一緒に農作業をするほかに、食事のこと、育児のこと、家の掃除や洗濯など、朝

戦後表面的には男女平等、女性の人格、権利というもののが認められ、選挙権、結婚、教育、労働基準法の労働条件や賃金など、確かに男女の差別は撤廃されました。それなのに、日常の生活ではやはり婦人の地位は低いようです。それは女性はいつも男性にリードされるムードに支配され、平素の勉強がそのようになっていくからではないでしょうか。紳士、淑女、もっとお互いに尊重しあい、女性は権利のみを振りまわさず、もっと自分自身の力をつけるように努めなければならないのではないのでしょうか。

婦人とクツ下

議会だより

- 九月三十日で任期満了された入善町教育委員広野清秀氏、泉俊一氏の後任として奥田新作氏と泉俊一氏(再任)がそれぞれ十月一日付で新教育委員に任命されました。
- ▽十月一日の入善町教育委員会での次のおり選任されました。
- 委員長 坂本米蔵
 - 同職務代理 新田義政
 - 委員 泉 俊一
 - 委員 奥田新作
 - 教育長 清田清一
- 前教育長広野清秀氏は任期満了により退任されました。
- ①機械工業センター誘致費一四四・六万円
 - ②新和工業誘致費七、七〇一・四万円
 - ▽入善町営舟見アール条例
 - ▽入善町営住宅設置条例改正
 - ▽富山県市町村税滞納整理組合設立について
 - ▽小字の廃止について
 - 地籍調査実施により新屋、小摺戸、舟見、野中四地区の小字を廃止
- 文教厚生委員協議会 9/21
- (1)昭和39年度補正予算
 - (2)新和工業KKとの工場誘致契約について
 - (3)町民体育大会の実施について
- 産業建設委員協議会 9/21
- (1)新和工業KKとの工場誘致契約について
 - (2)昭和39年度補正予算
 - (1)新和工業KKとの工場誘致契約について
- 総務委員協議会 9/22
- (1)新和工業KKとの工場誘致契約について
 - (2)昭和39年度補正予算
- 全員協議会 8/11
- (1)役場庁舎敷地(八、九〇〇平方メートル)
 - (2)県立職業訓練所の誘致(柵山地区)について
 - (3)黒部川流域開発の問題

(5) 広報にゆうぜん

※11月の納税※

- ・所得税第2期分
- ・国民健康保険税第3期分

一人のこらず納期限までに完納いたしましょう。

ちよつとまて

青木小5年
川原百合子

ふみきり安全たしかめて

さきごろ行なわれた秋の交通安全運動の一環として、児童生徒から交通安全ポスターおよび標語の募集を行いましたところ、大へんたくさん応募がありました。九月二十八日には、総出品数二〇六点について審査が行なわれましたが、どれをとってもそれぞれが工夫をこらしたおもしろいもので、努力のあとがみられ、ほとんど甲乙がつけられませんでした。その中から特につぎのみなさんの作品を

入選者氏名

- 【ポスターの部】
- (中学校) 飯野 清田伸義 西島直紀 西島勝美 野坂秀樹 東昌子 上青 松原澄子 萩田勢津子 川原登喜の
- (小学校) 横山 佐藤正紀 池原正昭 佐藤正美 池原美枝子 松田克志 青木 中林真一 広川美代子 高沢清美 川原弘子 川原晶子 松原英則 笹原博志



- 上原 小林いさむ
- 松田茂子 本多はる乃 西村篤子 小摺戸 長谷川淑子 新屋 中山いずみ 若島登江 橋場健次
- 【標語の部】
- (中学校) 上青 山本とも子 木田

身体障害者の方々に

- (1) 貧困な世帯に属する身体障害者に設置するラジオおよびテレビ受信料
- (2) 視覚障害者の設置するラジオおよびテレビ(半額免除)
- (3) 聴覚障害者の設置するラジオおよびテレビ(半額免除)

左記のとおり受信料が免除されますから該当者は民生課へ申請してください。

寄生虫検査

寄生虫は私たちのからだにいろいろの害をもたらします。一人残らず検便を受けるように、主婦のみなさんは一家の責任をもって、婦人会役員、班長宅まで提出してください。

- 彰引 金沢正子 川田恵子 吉沢英樹 安原ちづ子
- (小学校) 横山 金山美千代 新屋 藤田洋子 村上美喜子 水野雅則 中易久仁子 上原宝泉とも子 村上俊博 青木川原弘子 小林剛典 松沢喜美野沢邦夫 川原百合子

・横山小六年 松田克志



新有権者感想文募集

◎応募規程

- (一) 感想文の内容と標題
- 新有権者として選挙に対する心構えと成人の喜びを内容とするもので標題は自由
- (二) 枚数
- 二〇〇字詰原稿用紙十枚以内または四〇〇字詰原稿用紙五枚以内
- (三) 応募資格
- 昭和十九年一月十六日から二十年一月十五日までの間に生まれた方
- (四) 締切日と提出先
- 昭和三十九年十二月十五日まで、入善町選挙管理委員会宛
- (五) 賞
- 入選者には賞状および賞品を贈呈いたします。
- (六) 発表
- 広報一月号に掲載いたします

納税者の声を聞く旬間

十一月一日より
十一月十日まで

富山市表町農協会館四階
税務署の課税や徴収が不当であると思う方。また取扱いに不平不満のある方はどしどし「協議団」または「税務相談所」をご利用ください。

- 金沢国税局協議団富山支部
- 金沢国税局富山税務相談所

善意の窓口

あたたかいご芳志を感謝いたします

— 入善町善意銀行 —

(9月21日~10月22日)

現金の部

預託(寄附)	内 容
新屋	500円拾得金として
長谷川和江 舟見中2年 橋場英子	300円 //
入善	200,000円停年一時金の寄附 (指定内訳) 50,000円 善意銀行へ 50,000円 日赤寄附金 100,000円 上原小学校備 品購入資金として
3 件	200,800円

◇新着図書案内◇

- 科学の思想 井上 健
- 実業の思想 長 幸男
- 中国の歴史(上) 貝塚茂樹
- 日本の学校 勝田守一
- 母親の生き方 堀 秀彦
- ドルと世界経済 牧野純夫
- 株式投資の仕方と見方 勝田貞次
- 子供の知恵の成長のために 村山貞雄
- 南アメリカ 鈴木郁三
- 稚魚を求めて 内田恵太郎
- 新しく家を建てる人のために 蔵方昭治
- 青年団の生産学習 寒河江善秋
- 伊勢と出雲 渡辺保忠
- 風のない夜 有馬頼義
- 妬 心 瀬戸内晴美
- 世界の文学 36 杉浦博部
- 日本の文学 29 芥川龍之介
- 日本の文学 47 林芙美子
- 二葉亭四迷 全集1 二葉亭四迷
- 世界の文学 42 生田耕作 訳
- 荷風全集 18 永井壮吉
- 吉行淳之介集 吉行淳之介
- 西郷隆盛 6 林 房雄
- 郷愁車輪の下 高橋健二 訳
- 触まれた愛 夏堀正元
- 山の波紋 筒井敏雄
- 太陽を這う 黒岩重吾
- 愛の斜塔 京都伸夫
- まだまだ夜だ 今日出雄
- 日本の木 東京大学
- 私たちのからだ 杉靖三郎
- 日本の通信 山下武夫
- 日本のくだもの 永沢勝雄
- お金のやくめ 美濃部亮吉
- 村と町と都市 木内信蔵